

■武蔵関の歴史

武蔵関という名前は、主に駅の名称であり
本来この地区は「関」と呼ばれてきました。

この地区の住所表記の沿革は下記の通り。

- ・江戸時代は武蔵国豊島郡関村
- ・明治22年に東京府北豊島郡石神井村大字関となる
- ・昭和7年に東京府東京市板橋区石神井関町となる
- ・昭和24年には東京都練馬区関町となる
- ・昭和53年には関町が、関町北、関町南、関町東に住所表記が分かれた。

以上より江戸時代以降の共通した地名は「関」ということになりますが、
住民や周辺の人たちは一般的にはこの地区のことを関町と呼んでいます。

(関と呼ぶ人もいますが、主に昔からの住人である。)

尚、道路の案内標識にも関町と記されています。

武蔵関地域の歴史は古く、近くに流れる石神井川の流域からは様々な遺跡が発見されており、縄文時代から人が住んでいたことが分かっています。

また奈良時代には、この地域の氏神様天祖若宮八幡宮の前身となるものが出来ています。

それでは、なぜ「関」という名前の場所になったのでしょうか。

室町時代に、この地域を支配していた豊島氏の居城石神井城の関所をこの地に置いたため、それ由来すると言われています。

昭和2年に西武鉄道が開通し、それと同時に武蔵関駅が出来ます。

その際に三重県に国鉄（現在のJR）関西本線に関駅があったため、旧国名の武蔵を冠し武蔵関としたと考えられます。

因みに、下り方面へ2駅行った西武柳沢駅に関しては、同じく開業当時に長野県に柳沢駅があったため、こちらは会社名の西武を冠したとのこと。（東京の柳沢はやぎさわと読むが、長野の柳沢はやなぎさわと読み、読み方の相違がある。）

尚、長野県の柳沢駅は2002年に廃止になっています。

関町は住所表記の沿革から見ても石神井地区に含まれると考えられますが、その中心地と考える石

神井公園駅周辺への公共交通の便がなぜか悪く、さらに高架化されていない西武新宿線が横断して地域を分断しているため渋滞を招いています。

特に西武新宿線以南では実質的に石神井地区とは言い難い状況です。

その反面、JR中央線の荻窪駅（杉並区）、吉祥寺駅、三鷹駅（武蔵野市）への公共交通は充実しており、特に人気エリアの吉祥寺へは距離も近いことがあって、利用する人が非常に多くなっています。

その為、練馬区民であるものの、練馬区内で消費することは少なく複雑な地域となっています。

さらにJR中央線は都心へのアクセスが非常に便利な路線であり、さらにJR総武線、東京メトロ東西線が乗り入れています。

反面、西武新宿線は乗り入れている路線がなく、都心部のターミナルが西武新宿駅であり、新宿駅から少し離れた場所にあるため乗換の利便性に関しては良いとは言えない状況にあります。

乗換に関しては西武新宿駅の1駅手前である高田馬場駅の方が利便性が高いため、乗降者数に関しては途中駅の高田馬場の方がターミナル駅である西武新宿を上回っています。

JR中央線とほぼ並行した地域を走るこの西武新宿線の存在意義は中央線のバイパス的存在でしょうか。

西武新宿線が最寄路線であるにも関わらず、JR中央線を利用する人がかなりいる状況となっています。

現在、武蔵関駅周辺は住宅街として整備されていますが、正直商店が充実しているとは言い難い状況にあります。

平成20年に西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）が連続立体交差事業の事業候補区間に選定されさらに平成22年「武蔵関まちづくり協議会」が設立され、武蔵関駅周辺において地域の生活拠点性を高めるため、交通の利便性や買い物などの安全性・快適性を高めるとともに、地区の特性に配慮して、商業環境の向上などを図る活動が検討、実施されるようになってきました。

ところで現在東京都というと特別区部と多摩地区と島部を示しますが、

東京都になる前は大阪、京都と並び東京府と呼ばれ「都」ではなく「府」であったことをご存じだったでしょうか？

昭和18年に東京都へ移行しましたが、それまでは三府として首都及びその代替地という位置付けとしていました。

多摩地区は明治26年までは神奈川県であったことを知る人は少ないと思います。

（ちなみに旧保谷市及び練馬区大泉地区は埼玉県であった。）

東京というと明治26年までは、ほぼ現在の特別区の範囲だけという非常に狭い範囲でした。

(尚、杉並区、中野区も明治5年に5か月間だけ神奈川県だった歴史があります。)
よって、この関地区は東京の端であったということになります。
吉祥寺方面に行けば神奈川県。大泉学園、保谷方面に行けば埼玉県ということであったようです。

現在は上石神井に車両基地があり、そのため急行停車駅となっていますが
その車両基地は武蔵関に造る計画になっていたようです。

しかしながら、武蔵関は石神井川の流れにより、土地に高度差があり
それを造るのには困難な地形であると判断、そのため上石神井に造ったとのことでした。



『武蔵関の歴史』

<http://musashisekitanaka.web.fc2.com/html1.html>

お問い合わせ

E-mail:yoshi54517@yahoo.co.jp

Tel : 070-6555-1909 田中まで